

慶應義塾大学商学部小野晃典研究会第6期

第2回フリーディスカッション

## 消費者の態度モデル

小嶋良一郎 窪田和基 マガリー・ヴィスカロ 大内みさと 柴田大樹

### ・題材

古川勇吉 (1986), 「消費者の態度モデルに関する一考察 Fishbein モデルを中心に」, 『大阪大学経済学』, 第36巻第1・2号, 13-19頁

### ・目的

Peter & Olson の『現代消費者行動論』、中西正雄の『消費者行動分析のニューフロンティア』といった基礎文献でも学んだ Fishbein の態度モデルは、今後の論文執筆において重要となり得る理論の1つである。しかし、このような既存モデルは必ずしも利点ばかりではなく、問題点も有しているといえよう。そこで今回のフリーディスカッションでは、Fishbein モデルを批判的な視点から見て議論を行い、問題点を発見することで、モデルについての理解をより一層深めることを目的とする。そして、批判的精神も身に付けることを目指す。

### ・論文の概要

1. はじめに
2. 態度概念
3. 態度モデルについて
4. 態度モデルの利点と問題点

### ・論点

論文で取り上げられている Fishbein モデルには、問題点あるいは欠点がないのかどうかを、批判的な視点で論じていただきたい。

### ・タイムスケジュール

1. 開題者による流れの説明(5分)
2. グループに分かれてフリーディスカッション(40分)
3. 各班代表によるまとめ(5分×5班=25分)
4. 開題者からの発表(10分)

### ・グループ分け

A型1班：小早川、佐々木、山本、韓、鷲見、松川、池谷  
A型2班：水成、横内、近澤、森本、有吉、高橋、石川、細川  
B型1班：阿部、藤、許、宮田、田中(照)、新井、加藤、飯島  
B型2班：浅坂、廣田、松木、田中(昂)、石崎、千葉、高崎  
AB型1班：神崎、縄田、王、伊佐次、北川、河野、松山

なお、6期にはO型が少ない(1名)為、5期のO型の方々は各班に分配しました。